

鴻巣市下水道事業経営戦略（案）の修正案

第1回審議会及び質問書で寄せられたご質問・ご意見（資料2「第1回審議会資料に対する質問事項について（回答）」表1、表2を参照のこと。）の他、語句・表現、文章構成等に対する委員からのご指摘も踏まえ、次の表1に示すとおり、経営戦略（案）の修正を行った。

表1 委員からの質問・意見等を踏まえた修正

No.	旧		新		修正																								
	ページ	内容	ページ	内容																									
1	p. 3	<p>(注釈) 表1 最下段 計画汚水量 (時間最大)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>全体計画⁽⁹⁾</th> <th>事業計画⁽¹⁰⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>(日最大)</td> <td>60,700 m³/日</td> <td>49,060 m³/日</td> </tr> <tr> <td>(時間最大)</td> <td>94,400 m³/日</td> <td>76,149 m³/日</td> </tr> </tbody> </table>	項目	全体計画 ⁽⁹⁾	事業計画 ⁽¹⁰⁾	(日最大)	60,700 m ³ /日	49,060 m ³ /日	(時間最大)	94,400 m ³ /日	76,149 m ³ /日	p. 5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>全体計画⁽⁹⁾</th> <th>事業計画⁽¹⁰⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>(日最大)</td> <td>60,700 m³/日</td> <td>49,060 m³/日</td> </tr> <tr> <td>(時間最大⁽¹³⁾)</td> <td>94,400 m³/日</td> <td>76,149 m³/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(文末脚注) ⁽¹³⁾ 計画1日最大汚水量発生日におけるピーク時1時間汚水量の24時間換算値 (m³/日) のこと。管きょ、ポンプ場などの設計に用いる。</p>	項目	全体計画 ⁽⁹⁾	事業計画 ⁽¹⁰⁾	(日最大)	60,700 m ³ /日	49,060 m ³ /日	(時間最大 ⁽¹³⁾)	94,400 m ³ /日	76,149 m ³ /日	追加
項目	全体計画 ⁽⁹⁾	事業計画 ⁽¹⁰⁾																											
...																											
(日最大)	60,700 m ³ /日	49,060 m ³ /日																											
(時間最大)	94,400 m ³ /日	76,149 m ³ /日																											
項目	全体計画 ⁽⁹⁾	事業計画 ⁽¹⁰⁾																											
...																											
(日最大)	60,700 m ³ /日	49,060 m ³ /日																											
(時間最大 ⁽¹³⁾)	94,400 m ³ /日	76,149 m ³ /日																											
2	p. 24	<p>(図14) 補てん財源の状況</p>	p. 26	<p>(単位を百万円に変更する。)</p>	変更																								

第1回審議会後、経営戦略（案）を精査した結果、修正が必要であると事務局が判断し、修正した箇所を、次の表2に示す。

表2 その他修正（事務局）

No.	旧		新		修正																																																						
	ページ	内容	ページ	内容																																																							
(1) 繰入金の修正																																																											
1	p. 46	(本文5行目) ・一般会計繰入金は現状と同等とする（年 <u>10</u> 億円程度）	p. 48	・一般会計繰入金は現状と同等とする（年 <u>11</u> 億円程度）	変更																																																						
2	p. 48	ケース1 現況の繰入金（年間約 <u>10</u> 億円） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>現況</th> <th>減価償却のピーク①</th> <th>償還金のピーク①</th> <th>償還金のピーク②</th> <th>減価償却のピーク②</th> </tr> <tr> <th>2016年 (H28)</th> <th>2031年 (H43)</th> <th>2046年 (H58)</th> <th>2068年 (H80)</th> <th>2089年 (H101)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰入金（百万円）</td> <td>1,050</td> <td>1,062</td> <td>1,062</td> <td>1,062</td> <td>1,062</td> </tr> <tr> <td>純利益（百万円）</td> <td>128</td> <td>57</td> <td>70</td> <td>204</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>補てん財源（百万円）</td> <td>825</td> <td>6,713</td> <td>14,713</td> <td>15,994</td> <td>14,114</td> </tr> <tr> <td>起債残高（百万円）</td> <td>13,934</td> <td>10,309</td> <td>10,486</td> <td>8,145</td> <td>6,577</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②	2016年 (H28)	2031年 (H43)	2046年 (H58)	2068年 (H80)	2089年 (H101)	繰入金（百万円）	1,050	1,062	1,062	1,062	1,062	純利益（百万円）	128	57	70	204	63	補てん財源（百万円）	825	6,713	14,713	15,994	14,114	起債残高（百万円）	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577	p. 52	ケース1 現況の繰入金（年間約 <u>11</u> 億円） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>現況</th> <th>減価償却のピーク①</th> <th>償還金のピーク①</th> <th>償還金のピーク②</th> <th>減価償却のピーク②</th> </tr> <tr> <th>2016年度 (H28)</th> <th>2031年度 (H43)</th> <th>2046年度 (H58)</th> <th>2068年度 (H80)</th> <th>2089年度 (H101)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰入金（百万円）</td> <td>百万円</td> <td>1,150</td> <td>1,141</td> <td>1,141</td> <td>1,141</td> <td>1,141</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②	2016年度 (H28)	2031年度 (H43)	2046年度 (H58)	2068年度 (H80)	2089年度 (H101)	繰入金（百万円）	百万円	1,150	1,141	1,141	1,141	1,141	変更
項目	現況	減価償却のピーク①		償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②																																																					
	2016年 (H28)	2031年 (H43)	2046年 (H58)	2068年 (H80)	2089年 (H101)																																																						
繰入金（百万円）	1,050	1,062	1,062	1,062	1,062																																																						
純利益（百万円）	128	57	70	204	63																																																						
補てん財源（百万円）	825	6,713	14,713	15,994	14,114																																																						
起債残高（百万円）	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577																																																						
項目	単位	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②																																																					
		2016年度 (H28)	2031年度 (H43)	2046年度 (H58)	2068年度 (H80)	2089年度 (H101)																																																					
繰入金（百万円）	百万円	1,150	1,141	1,141	1,141	1,141																																																					
3	p. 48	ケース2 繰入金を5年ごとに20百万円減少させる <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>現況</th> <th>減価償却のピーク①</th> <th>償還金のピーク①</th> <th>償還金のピーク②</th> <th>減価償却のピーク②</th> </tr> <tr> <th>2016年 (H28)</th> <th>2031年 (H43)</th> <th>2046年 (H58)</th> <th>2068年 (H80)</th> <th>2089年 (H101)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰入金（百万円）</td> <td>1,050</td> <td>1,002</td> <td>942</td> <td>842</td> <td>762</td> </tr> <tr> <td>純利益（百万円）</td> <td>128</td> <td>66</td> <td>65</td> <td>68</td> <td>-171</td> </tr> <tr> <td>補てん財源（百万円）</td> <td>825</td> <td>6,193</td> <td>12,753</td> <td>10,294</td> <td>3,034</td> </tr> <tr> <td>起債残高（百万円）</td> <td>13,934</td> <td>10,309</td> <td>10,486</td> <td>8,145</td> <td>6,577</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②	2016年 (H28)	2031年 (H43)	2046年 (H58)	2068年 (H80)	2089年 (H101)	繰入金（百万円）	1,050	1,002	942	842	762	純利益（百万円）	128	66	65	68	-171	補てん財源（百万円）	825	6,193	12,753	10,294	3,034	起債残高（百万円）	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577	p. 53	ケース2 繰入金を5年ごとに20百万円減少させる <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>現況</th> <th>減価償却のピーク①</th> <th>償還金のピーク①</th> <th>償還金のピーク②</th> <th>減価償却のピーク②</th> </tr> <tr> <th>2016年度 (H28)</th> <th>2031年度 (H43)</th> <th>2046年度 (H58)</th> <th>2068年度 (H80)</th> <th>2089年度 (H101)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰入金（百万円）</td> <td>百万円</td> <td>1,150</td> <td>1,081</td> <td>1,021</td> <td>921</td> <td>841</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②	2016年度 (H28)	2031年度 (H43)	2046年度 (H58)	2068年度 (H80)	2089年度 (H101)	繰入金（百万円）	百万円	1,150	1,081	1,021	921	841	変更
項目	現況	減価償却のピーク①		償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②																																																					
	2016年 (H28)	2031年 (H43)	2046年 (H58)	2068年 (H80)	2089年 (H101)																																																						
繰入金（百万円）	1,050	1,002	942	842	762																																																						
純利益（百万円）	128	66	65	68	-171																																																						
補てん財源（百万円）	825	6,193	12,753	10,294	3,034																																																						
起債残高（百万円）	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577																																																						
項目	単位	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②																																																					
		2016年度 (H28)	2031年度 (H43)	2046年度 (H58)	2068年度 (H80)	2089年度 (H101)																																																					
繰入金（百万円）	百万円	1,150	1,081	1,021	921	841																																																					

No.	旧					新					修正			
	ページ	内容				ページ	内容							
4	p. 49	ケース 3 補てん財源が赤字となる繰入金 (8 億円)				p. 53	ケース 3 補てん財源が赤字となる繰入金 (約 9 億円)				変更			
		項目	現況 2016年 (H28)	減価償却の ピーク① 2031年 (H43)	償還金の ピーク① 2046年 (H58)	償還金の ピーク② 2068年 (H80)	減価償却の ピーク② 2089年 (H101)	項目	単位	現況 2016年度 (H28)		減価償却の ピーク① 2031年度 (H43)	償還金の ピーク① 2046年度 (H58)	償還金の ピーク② 2068年度 (H80)
		繰入金 (百万円)	1,050	802	802	802	802	繰入金 (百万円)	百万円	1,150	881	881	881	881
		純利益 (百万円)	128	37	50	16	-270							
		補てん財源 (百万円)	825	4,653	8,752	4,314	-3,026							
		起債残高 (百万円)	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577							

(2) シミュレーション結果説明の修正

5	p. 48	ケース 1 現況の繰入金 (年間約 10 億円)					p. 52	ケース 1 現況の繰入金 (年間約 10 億円)					変更	
		項目	現況 2016年 (H28)	減価償却の ピーク① 2031年 (H43)	償還金の ピーク① 2046年 (H58)	償還金の ピーク② 2068年 (H80)	減価償却の ピーク② 2089年 (H101)	項目	単位	現況 2016年度 (H28)	減価償却の ピーク① 2031年度 (H43)	償還金の ピーク① 2046年度 (H58)		償還金の ピーク② 2068年度 (H80)
		繰入金 (百万円)	1,050	1,062	1,062	1,062	1,062	繰入金 (百万円)	百万円	1,150	1,141	1,141	1,141	1,141
		純利益 (百万円)	128	57	70	204	63	使用料収入	百万円	1,019	1,026	864	624	451
		補てん財源 (百万円)	825	6,713	14,713	15,994	14,114	純利益※	百万円	128	57	70	204	63
		起債残高 (百万円)	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577	補てん財源	百万円	825	6,713	14,713	15,994	14,114
								起債残高	百万円	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577

・使用料の減少に伴い、徐々に純利益は下がります。
特に新規取得分の減価償却費が上昇し始める
2066 年度 (平成 78 年度) 以降が大きく下がります。
す。



・補てん財源は増加傾向にありますが、純利益が下
がる 2055 年度 (平成 67 年度) 以降は減少してい
きます。

・人口減少に伴い、使用料収入は減少していきます。
・減価償却費が 2 度目のピークを迎える 2089 年度 (平
成 101 年度) においても、純利益はプラスが確保さ
れています。
・補てん財源は増加傾向にあり、減価償却費が 2 度目
のピークを迎える 2089 年度 (平成 101 年度) にお
いても資金不足には陥りません。

No.	旧					新					修正																																																																																		
	ページ	内容				ページ	内容																																																																																						
6	p. 48	ケース 2 繰入金を 5 年ごとに 20 百万円減少させる <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>現況</th> <th>減価償却のピーク①</th> <th>償還金のピーク①</th> <th>償還金のピーク②</th> <th>減価償却のピーク②</th> </tr> <tr> <th>2016年(H28)</th> <th>2031年(H43)</th> <th>2046年(H58)</th> <th>2068年(H80)</th> <th>2089年(H101)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰入金(百万円)</td> <td>1,050</td> <td>1,002</td> <td>942</td> <td>842</td> <td>762</td> </tr> <tr> <td>純利益(百万円)</td> <td>128</td> <td>66</td> <td>65</td> <td>68</td> <td>-171</td> </tr> <tr> <td>補てん財源(百万円)</td> <td>825</td> <td>6,193</td> <td>12,753</td> <td>10,294</td> <td>3,034</td> </tr> <tr> <td>起債残高(百万円)</td> <td>13,934</td> <td>10,309</td> <td>10,486</td> <td>8,145</td> <td>6,577</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料の減少に伴い、徐々に純利益は下がります。 特に新規取得分の減価償却費が上昇し始める2066年度(平成78年度)以降が大きく下がります。 ・2066年度(平成78年度)以降は60百万円の純利益が確保できなくなり、2072年度(平成84年度)には赤字となります。 				項目	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②	2016年(H28)	2031年(H43)	2046年(H58)	2068年(H80)	2089年(H101)	繰入金(百万円)	1,050	1,002	942	842	762	純利益(百万円)	128	66	65	68	-171	補てん財源(百万円)	825	6,193	12,753	10,294	3,034	起債残高(百万円)	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577	p. 53	ケース 2 繰入金を 5 年ごとに 20 百万円減少させる <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>現況</th> <th>減価償却のピーク①</th> <th>償還金のピーク①</th> <th>償還金のピーク②</th> <th>減価償却のピーク②</th> </tr> <tr> <th>2016年度(H28)</th> <th>2031年度(H43)</th> <th>2046年度(H58)</th> <th>2068年度(H80)</th> <th>2089年度(H101)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰入金(百万円)</td> <td>百万円</td> <td>1,150</td> <td>1,081</td> <td>1,021</td> <td>921</td> <td>841</td> </tr> <tr> <td>使用料収入</td> <td>百万円</td> <td>1,019</td> <td>1,026</td> <td>864</td> <td>624</td> <td>451</td> </tr> <tr> <td>純利益※</td> <td>百万円</td> <td>128</td> <td>66</td> <td>65</td> <td>68</td> <td>-171</td> </tr> <tr> <td>補てん財源</td> <td>百万円</td> <td>825</td> <td>6,193</td> <td>12,753</td> <td>10,294</td> <td>3,034</td> </tr> <tr> <td>起債残高</td> <td>百万円</td> <td>13,934</td> <td>10,309</td> <td>10,486</td> <td>8,145</td> <td>6,577</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴い、使用料収入は減少していきます。 ・減価償却費が2度目のピークを迎える2089年度(平成101年度)には、純利益はマイナスとなっています。 ・この時には赤字を埋める補填財源も減少傾向にあります。 				項目	単位	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②	2016年度(H28)	2031年度(H43)	2046年度(H58)	2068年度(H80)	2089年度(H101)	繰入金(百万円)	百万円	1,150	1,081	1,021	921	841	使用料収入	百万円	1,019	1,026	864	624	451	純利益※	百万円	128	66	65	68	-171	補てん財源	百万円	825	6,193	12,753	10,294	3,034	起債残高	百万円	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577	変更
項目	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②																																																																																								
	2016年(H28)	2031年(H43)	2046年(H58)	2068年(H80)	2089年(H101)																																																																																								
繰入金(百万円)	1,050	1,002	942	842	762																																																																																								
純利益(百万円)	128	66	65	68	-171																																																																																								
補てん財源(百万円)	825	6,193	12,753	10,294	3,034																																																																																								
起債残高(百万円)	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577																																																																																								
項目	単位	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②																																																																																							
		2016年度(H28)	2031年度(H43)	2046年度(H58)	2068年度(H80)	2089年度(H101)																																																																																							
繰入金(百万円)	百万円	1,150	1,081	1,021	921	841																																																																																							
使用料収入	百万円	1,019	1,026	864	624	451																																																																																							
純利益※	百万円	128	66	65	68	-171																																																																																							
補てん財源	百万円	825	6,193	12,753	10,294	3,034																																																																																							
起債残高	百万円	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577																																																																																							
7	p. 49	ケース 3 補てん財源が赤字となる繰入金(8億円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>現況</th> <th>減価償却のピーク①</th> <th>償還金のピーク①</th> <th>償還金のピーク②</th> <th>減価償却のピーク②</th> </tr> <tr> <th>2016年(H28)</th> <th>2031年(H43)</th> <th>2046年(H58)</th> <th>2068年(H80)</th> <th>2089年(H101)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰入金(百万円)</td> <td>1,050</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> <td>802</td> </tr> <tr> <td>純利益(百万円)</td> <td>128</td> <td>37</td> <td>50</td> <td>16</td> <td>-270</td> </tr> <tr> <td>補てん財源(百万円)</td> <td>825</td> <td>4,653</td> <td>8,752</td> <td>4,314</td> <td>-3,026</td> </tr> <tr> <td>起債残高(百万円)</td> <td>13,934</td> <td>10,309</td> <td>10,486</td> <td>8,145</td> <td>6,577</td> </tr> </tbody> </table>				項目	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②	2016年(H28)	2031年(H43)	2046年(H58)	2068年(H80)	2089年(H101)	繰入金(百万円)	1,050	802	802	802	802	純利益(百万円)	128	37	50	16	-270	補てん財源(百万円)	825	4,653	8,752	4,314	-3,026	起債残高(百万円)	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577	p. 53	ケース 3 補てん財源が赤字となる繰入金(約9億円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>現況</th> <th>減価償却のピーク①</th> <th>償還金のピーク①</th> <th>償還金のピーク②</th> <th>減価償却のピーク②</th> </tr> <tr> <th>2016年度(H28)</th> <th>2031年度(H43)</th> <th>2046年度(H58)</th> <th>2068年度(H80)</th> <th>2089年度(H101)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰入金(百万円)</td> <td>百万円</td> <td>1,150</td> <td>881</td> <td>881</td> <td>881</td> <td>881</td> </tr> <tr> <td>使用料収入</td> <td>百万円</td> <td>1,019</td> <td>1,026</td> <td>864</td> <td>624</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>純利益※</td> <td>百万円</td> <td>128</td> <td>37</td> <td>50</td> <td>16</td> <td>-270</td> </tr> <tr> <td>補てん財源</td> <td>百万円</td> <td>825</td> <td>4,653</td> <td>8,752</td> <td>4,314</td> <td>-3,026</td> </tr> <tr> <td>起債残高</td> <td>百万円</td> <td>13,934</td> <td>10,309</td> <td>10,486</td> <td>8,145</td> <td>6,577</td> </tr> </tbody> </table>				項目	単位	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②	2016年度(H28)	2031年度(H43)	2046年度(H58)	2068年度(H80)	2089年度(H101)	繰入金(百万円)	百万円	1,150	881	881	881	881	使用料収入	百万円	1,019	1,026	864	624	45	純利益※	百万円	128	37	50	16	-270	補てん財源	百万円	825	4,653	8,752	4,314	-3,026	起債残高	百万円	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577	変更
項目	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②																																																																																								
	2016年(H28)	2031年(H43)	2046年(H58)	2068年(H80)	2089年(H101)																																																																																								
繰入金(百万円)	1,050	802	802	802	802																																																																																								
純利益(百万円)	128	37	50	16	-270																																																																																								
補てん財源(百万円)	825	4,653	8,752	4,314	-3,026																																																																																								
起債残高(百万円)	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577																																																																																								
項目	単位	現況	減価償却のピーク①	償還金のピーク①	償還金のピーク②	減価償却のピーク②																																																																																							
		2016年度(H28)	2031年度(H43)	2046年度(H58)	2068年度(H80)	2089年度(H101)																																																																																							
繰入金(百万円)	百万円	1,150	881	881	881	881																																																																																							
使用料収入	百万円	1,019	1,026	864	624	45																																																																																							
純利益※	百万円	128	37	50	16	-270																																																																																							
補てん財源	百万円	825	4,653	8,752	4,314	-3,026																																																																																							
起債残高	百万円	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577																																																																																							

No.	旧		新		修正																														
	ページ	内容	ページ	内容																															
(3) 文言・図の修正																																			
8	p. 2	(本文5行目) 地形は概ね平坦で、南部の大宮台地には武蔵野の面影を伝える雑木林が、北部の低地には水田が広がっています。	p. 3	地形は概ね平坦で、 <u>地域の南部は大宮台地の一部をなし</u> 、武蔵野の面影を伝える雑木林が、北部の低地には水田が広がっています。	変更																														
9	p. 10	(表3) 年度別管路布設延長(汚水) 最上段 施工年度不明 単位:m <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工年度</th> <th>鴻巣地域</th> <th>吹上地域</th> <th>川里地域</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不明</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,835</td> <td>1,835</td> </tr> <tr> <td>1976年度 (S51)</td> <td>0</td> <td>5,200</td> <td></td> <td>5,200</td> </tr> </tbody> </table>	施工年度	鴻巣地域	吹上地域	川里地域	合計	不明	0	0	1,835	1,835	1976年度 (S51)	0	5,200		5,200	p. 10	(表3) 年度別管路布設延長(汚水) 最上段 施工年度 <u>不明(※)</u> 単位:m <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工年度</th> <th>鴻巣地域</th> <th>吹上地域</th> <th>川里地域</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不明(※)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,835</td> <td>1,835</td> </tr> <tr> <td>1976年度 (S51)</td> <td>0</td> <td>5,200</td> <td></td> <td>5,200</td> </tr> </tbody> </table>	施工年度	鴻巣地域	吹上地域	川里地域	合計	不明(※)	0	0	1,835	1,835	1976年度 (S51)	0	5,200		5,200	追加
施工年度	鴻巣地域	吹上地域	川里地域	合計																															
不明	0	0	1,835	1,835																															
1976年度 (S51)	0	5,200		5,200																															
施工年度	鴻巣地域	吹上地域	川里地域	合計																															
不明(※)	0	0	1,835	1,835																															
1976年度 (S51)	0	5,200		5,200																															
10	p. 11	(表4) 年度別管路布設延長(雨水) 最上段 施工年度不明 単位:m <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工年度</th> <th>鴻巣地域</th> <th>吹上地域</th> <th>川里地域</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不明</td> <td></td> <td></td> <td>2,266</td> <td>2,266</td> </tr> <tr> <td>2001年度 (H13)</td> <td>0</td> <td>301</td> <td>0</td> <td>301</td> </tr> </tbody> </table>	施工年度	鴻巣地域	吹上地域	川里地域	合計	不明			2,266	2,266	2001年度 (H13)	0	301	0	301	p. 11	(表4) 年度別管路布設延長(雨水) 最上段 施工年度 <u>不明(※)</u> 単位:m <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工年度</th> <th>鴻巣地域</th> <th>吹上地域</th> <th>川里地域</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不明(※)</td> <td></td> <td></td> <td>2,266</td> <td>2,266</td> </tr> <tr> <td>2001年度 (H13)</td> <td>0</td> <td>301</td> <td>0</td> <td>301</td> </tr> </tbody> </table> <p>※表3・表4の施行年度「不明」の管路は、埼玉県企業局が平成元年頃に整備したもの。</p>	施工年度	鴻巣地域	吹上地域	川里地域	合計	不明(※)			2,266	2,266	2001年度 (H13)	0	301	0	301	追加
施工年度	鴻巣地域	吹上地域	川里地域	合計																															
不明			2,266	2,266																															
2001年度 (H13)	0	301	0	301																															
施工年度	鴻巣地域	吹上地域	川里地域	合計																															
不明(※)			2,266	2,266																															
2001年度 (H13)	0	301	0	301																															

No.	旧		新		修正
	ページ	内容	ページ	内容	
11	p. 3	<p>(本文 1 行目)</p> <p>本市の下水道は、県の荒川左岸北部流域下水道事業⁽⁷⁾を上位計画とし、鴻巣市公共下水道事業⁽⁸⁾として 1973 (昭和 48) 年から事業に着手しています。</p> <p>(本文 5 行目)</p> <p>また、2008 (平成 20) 年度には、近年の人口減少を受けて、<u>上位計画である荒川左岸北部流域下水道事業が見直され</u>、鴻巣市の下水道全体計画 (最終目標年度、2024 (平成 36) 年) も、処理面積 4,262ha、処理人口 105,900 人に変更され現在に至っています。</p>	p. 4	<p>本市の下水道は、県の荒川左岸北部流域下水道事業⁽⁷⁾<u>に基づき</u>、鴻巣市公共下水道事業⁽⁸⁾として昭和 48 年度から事業に着手しています。</p> <p>また、平成 20 年度には、近年の人口減少を受けて、<u>(削除) 荒川左岸北部流域下水道事業が見直されたことから</u>、鴻巣市の下水道全体計画 (最終目標年度、2024 年度 (平成 36 年度)) も、処理面積 4,262ha、処理人口 105,900 人に変更され現在に至っています。</p>	変更
12	p. 27	<p>(施策 (案) (1)イ))</p> <p>イ) <u>汚水処理</u>区域の見直し</p>	p. 29	<p>イ) <u>全体計画</u>区域の見直し</p>	変更
13	p. 29	<p>施策(1)ーイ) <u>汚水処理</u>区域の見直し</p> <p>【課題】現在の<u>汚水処理</u>区域は・・・</p> <p>(◆<u>汚水処理</u>区域の見直し)</p> <p>・・・適切な<u>汚水処理</u>区域への見直しを図ります。</p>	p. 31	<p>施策(1)ーイ) <u>全体計画</u>区域の見直し</p> <p>【課題】現在の<u>全体計画</u>区域は・・・</p> <p>(◆<u>全体計画</u>区域の見直し)</p> <p>・・・適切な<u>全体計画</u>区域の見直しを図ります。</p>	変更
14	p. 30	<p>◆事業目標</p> <p>雨水対策施設の整備の継続</p>	p. 32	<p>雨水対策施設 <u>(雨水幹線等)</u> の整備の継続</p>	追加

No.	旧		新		修正
	ページ	内容	ページ	内容	
15	p. 42	マンホールカードの例 	p. 44	(埼玉県荒川左岸北部流域下水道のカードに差し替え) 	変更
16	p. 44	(総合地震計画の策定) 	p. 46	(図形の長さを2026年までに修正) 	変更
17	p. 46	(本文 10 行目) —	p. 48	以上の条件で、経営戦略の開始年度である 2019 年度から 2093 年度 (平成 31~平成 105 年度) の 75 年間の財政シミュレーションを行った結果を次に示します。	追加
18	p. 51	(表 定量的評価のための指標のうち関連施策) 雨水対策施設の整備	p. 56	雨水対策施設 <u>(雨水幹線等)</u> の整備	追加

No.	旧		新		修正
	ページ	内容	ページ	内容	
(4) 用語集の修正					
19	p. 52	(8) 公共下水道事業 ※鴻巣市の下水道は、市内の管きよ等の整備は公共下水道事業で行い、その末端管きよは県が管理する <u>流域下水道事業</u> に接続している。流域下水道に流入した汚水は、 <u>県内の他の市町村の汚水</u> と一緒に桶川市にある県の処理場（元荒川水循環センター）で処理されている。	p. 57	※鴻巣市の下水道は、市内の管きよ等の整備は公共下水道事業で行い、その末端管きよは県が管理する <u>流域下水道</u> に接続している。流域下水道に流入した汚水は、 <u>熊谷市、行田市、北本市、桶川市</u> と一緒に桶川市にある県の汚水処理場（元荒川水循環センター）で処理されている。	変更
20	p. 53	(15) 水洗化人口 処理区域内で <u>下水道に接続している</u> 人の数。	p. 58	処理区域内で <u>水洗便所を設置済みの</u> 人の数。	変更
(5) 文言の統一					
21	全般	和暦のみ表記	全般	(本文中の年表記) <u>昭和 48 年度</u> （平成 30 年度以前：和暦のみ） <u>2019 年度（平成 31 年度）</u> （平成 31 年度以降：西暦と和暦を併記） (表・グラフの年表記) 表： <u>2024 年度(H36)</u> 、グラフ： <u>2024(H36)</u> に統一	変更
22	全般	・・・の通り	全般	・・・の <u>とおり</u>	変更
23	全般	・・・および・・・	全般	・・・ <u>及び</u> ・・・	変更
24	p. 48 p. 49	CASE	p. 52 p. 53	<u>ケース</u>	変更

